

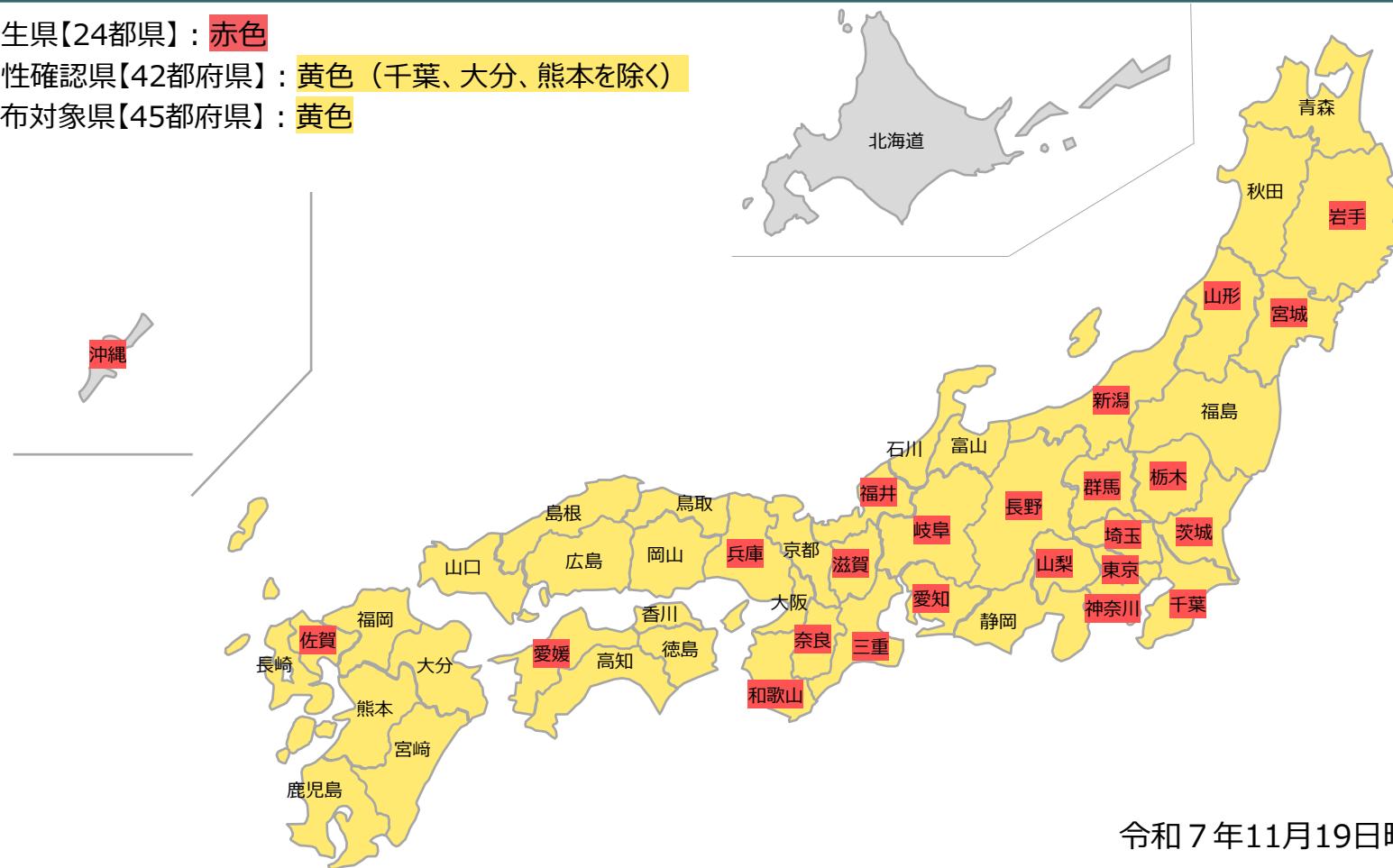
豚熱感染、捕獲強化・経口ワクチンの散布状況

- 平成30（2018）年9月、岐阜県の飼養豚及び野生イノシシで豚熱感染を確認（26年ぶり）。
- 感染確認及びその隣接県において、豚熱対策としての捕獲強化を実施（現時点：北海道を除く全県）。
- 平成31（2019）年3月、岐阜県及び愛知県において経口ワクチン散布を開始。
- 九州地域では、令和6年（2024）6月の佐賀県、令和7年（2025）2月の長崎県、4月の宮崎県、8月の福岡県における野生いのししでの豚熱感染確認を受け、経口ワクチンの散布を開始。
- 隣接県の感染状況を踏まえて、令和7年（2025）9月、大分県及び鹿児島県、同年11月、熊本県において経口ワクチン散布を開始。
- 現時点で、北海道、千葉県、大分県、熊本県及び沖縄県を除く42都府県において野生イノシシでの豚熱陽性事例が確認されている。

飼養豚豚熱発生県【24都県】：赤色

野生イノシシ陽性確認県【42都府県】：黄色（千葉、大分、熊本を除く）

経口ワクチン散布対象県【45都府県】：黄色



令和7年11月19日時点